

第4回 協働のまちづくり推進特別委員会

令和4年6月7日(火)
13時30分～時分
全員協議会室

【委員】 西田委員長、上野副委員長
村木委員、村武委員、柳楽委員、岡本委員、芦谷委員、川神委員

【委員外】

【議長団】

【事務局】 河上局長、松井書記

議 題

1 まちづくりセンター職員との意見交換（現地ヒアリング）の報告について

2 今後の進め方について

3 その他

○次回開催 月 日（ ） 時 分 全員協議会室

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5月 25日 13時 30分 ~ 14時 30分
 センター名(①浜田まちづくりセンター)
 委員名(川神委員 村木委員)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <p>●良くなった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が増えたので、会議や研修等で外出しやすくなった。 ・利用者さんの的には金銭的に無料になり使いやすくなった。 <p>●課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの業務にまちづくりのことも増え業務がととも増えた。 ・営利企業の利用が増えた。 ・申請書の字が小さく見にくく、欄も小さいので書きにくい。 ・申請書が煩雑すぎる。 ・各センターで利用料の統一が完全ではなくトラブルのもとになる。 ・土日の利用が増え土日職員不在は不便→管理人の配置するべきとの声も有る。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館からまちづくりセンターに代わって何が変わるのかとよく聞かれるが、説明してもなかなかピンと来ていない感じをいつも感じる。 ・名称の変化を受け入れられず、窓口や電話で話を聞くことが増えた。 ・まちづくりとは何をすべきかもっと広く説明すべきと声があがっている。 ・まちづくりCNが採用され活動されているが、旧浜田市内の住民には身近に感じられていない。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | <p>特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。</p> <p>地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。</p> <p>※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ごく一部(自治会の役員さんだけ)しか意識を持っていないように感じる。 ・当センターの利用者さんは浜田市内全域の方が集まるため、より一体感はないように感じる。 ・各町内会でも少子化と高齢化が進み、行事などマンパワーが不足している。最小限の事(一斉清掃等)も出来にくくなっている。 ・人によって様々ですが、多くの人は意識として無いに等しい。 |
| ② | <p>特に力を入れていることはなんですか。</p> <p>(どの分野ですか。)</p> <p>特色はなんですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・まちセン便りを直接配り地域の人や土地勘等に詳しくなるようにしている。 ・多世代の交流が出来る事業(キーマンは小学生の子を持つ保護者) ・共育を学校側に理解してもらうこと。 ・まちづくり委員会設立支援 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・26町内に対してまちセンがこの一つというのは規模的にもまとめていくのは難しいように感じるので、もう少しエリアごとに拠点を作ってほしい。 ・正職員を置いて市の責任者を置くべき。 ・まちづくり設立に関しての知識(メリット・デメリット等)が少ないので全体のボトムアップ研修が必要 ・もっと市のサポートがほしい。 ・業務のデジタル化の促進(ペーパーレス) ・まちづくりの担当部署(地域活動支援課)の担当が少なすぎる→まちセンの負担が大きすぎる。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は特に何も連携なし。 ・今年度はPJT会議を月1回開催し情報共有している。 ・今年度より本庁に常駐するので、直接顔を合わせて相談や依頼事が増えた。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 特になし |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 特になし |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | <p>二中校区(二中・原井・雲雀・松原)の学校 町内会とのつながりは特になし。</p> |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | <p>今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・煩雑な事務手続きをもう少し簡略化し、無駄を省いてまちづくりに大きくかかわることが出来るように、まちセンに来て下さる方と親身になって話をし繋がりを深くしてゆくゆくはまちづくりに貢献できるようにしていきたい。 ・もっとまちに近いセンターになる。そのためにはもう少しエリアを小さく、それぞれのまちに拠点を作ってほしい。 ・地区まちづくり推進協議会の事業支援(ソフト面) ・未就学児の幼保、中高生などとも関係性を築き、働いている子育て世代にもまちづくりへ感心を向けてもらえるよう繋がり作りが必要であるとする。実現の為に無理のない3~5年のビジョンで計画し外に出ていく出張公民館のようなツールが必要だと感じる。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域のキーマンになる人を見つける為に、地域でこういった課題や問題があるかを日常の会話から知っていく。 ・出張公民館で人集めのノウハウを伝えたり、参加者と繋がりを持つことで人となりを知ることがまちセンの役割であり特権でもある。 ・参加者さんへの声掛け、町内に対して興味のあるイベント企画。ゆっくりでも良いので直接関係ない事でも、いつか実を結ぶように関わる。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5 月 23 日 13 時 30 分 ~ 15 時 30 分
 センター名(②石見まちづくりセンター)
 委員名(芦谷・柳楽)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|---------------------------------------|--|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員体制が主事3名と事務1名となり、研修等にも参加しやすく活動がしやすくなった。 ・まちづくり組織の立ち上げ支援を行うようになった。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関心は薄いように感じていが、山間部では反応が良い。 |
| (2) | | |
| ① | <p>特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。</p> <p>地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。</p> <p>※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。</p> | 上記と同様 |
| ② | <p>特に力を入れていることはなんですか。</p> <p>(どの分野ですか。)</p> <p>特色はなんですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちよく来て過ごしていただける雰囲気づくり。 ・子どもとの関わりを強く持っている。 ・まちづくり組織の立ち上げ支援。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・エリアが広いこと。サブセンター設置の計画があるが、もう一カ所欲しいくらいである。 ・センターの部屋が少なく、ただ来て気軽に過ごせるスペースがない。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | ・現在2カ所のまちづくり組織の立ち上げ支援に、3名のコーディネーターに関わってもらっている。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | ・すでに立ち上がっているまちづくりとの関わりはほとんどないが、みはしネットはセンターに輪転機を置いている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 協議会との関わりはほとんどない。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください) 例えば 町内会、小学校 など | 小中学校、幼稚園、保育園、郷土資料館、中央図書館、高齢者クラブ |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | ・くらしの拠点にしていきたい。 ・まちづくりの立ち上げ支援やいろいろな人とのつながりを作っていきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | ・つなぎ役 ・町内会やまちづくり組織が疲弊しないように、気を配っていきたい。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年5月16日(月) 11時 5分 ~ 12時 5分
 センター名(③長浜まちづくりセンター)
 委員名(川神委員 村木委員)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|---------------------------------------|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 ○個人での利用の増加が見られ、生涯学習・社会教育施設として地域住民が利用しやすくなった。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | ○特に変化はない。ただ名称が変わっただけ、と受け止めておられる方が多い。 ○「公民館」に馴染み深い高齢の方の理解が難しい |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などところで結構です。 | ○「協働のまちづくり」についての認識はあまり浸透していないように感じる。 ○主体が自分たち住民である事が伝わっていない。 ○主体性が感じられず、どこか他人事である。 ○事務局や自治会長など、責任の所在をまちづくりセンターに求められ、センターがやってくれるものだと思っていた、との |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | ○浜田地域まちづくりセンター連絡会の共通テーマに基づき、社会教育・生涯学習を軸に、海洋教育に関わる事業を実施し、地域資源について学ぶ機会を設けた。 ○特に海洋教育の推進については、長浜地区には貿易港である長浜商港、白い砂浜、島根県唯一の海洋少年団があり、更には港町としての歴史・文化がある強みを生かし、関係機関と連携しながら様々な活動を計画し、取り組むようにしている。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | ○まちづくり推進委員会の組織化に向けた話し合いをすすめる中で、部会設置に向けた方策や仕組み作り。 ○人材確保、世代交代の難しさ |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | ○3月からまちづくり推進委員会との意見交換の場を設け、会に同席していただきアドバイスをもらっている。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | ○センター事業に協力していただいたり、施設内に事務スペースをおき、作業や打合せに気軽に利用してもらっている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | ○昨年度から、主事が委員になったので、情報共有は出来るようになったが、それ以前は委員の方から情報提供ではなく、地域協議会について認識出来ていなかった。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | ○長浜小学校や三中とは情報共有しながら、学校支援や放課後・休日の活動支援を行っている。 ○地区社協にもまちづくり推進委員会と同じく、事務スペース、倉庫を設置し、事業等も協力している。 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | ○今後、まちづくり推進委員会が組織化された際には、各部会の活動の拠点となる場所であり、地域に必要とされるセンターにしていきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | ○住民主体のまちづくりを推進するために、寄り添いながら伴走し、スムーズな活動が出来るよう支援する役割。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年5月20日 15時00分 ~ 時 分
 センター名(④周布まちづくりセンター)
 委員名(西田 清久議員、村武 まゆみ議員)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|---------------------------------------|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 ・センターの活動自体には変化はない。 ・地域のみなさんは、まちづくりセンターという名称に慣れていない。(公民館という名前に馴染みが深い) |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | ・利用料がなくなったことで、利用しやすくなったという意見は非常に多いが、新たな利用者が増えたという感じはない。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などところで結構です。 | ・地域の皆さんにとって「協働のまちづくり」が何か理解している方は非常に少ないと感じている。そのために、まちづくりセンターとまちづくり委員会が同じだと勘違いされている方が非常に多い。 |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | ・健康に特化した事業(ラジオ体操など) |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | ・事業参加の周知方法や交通手段の確保。公用車が欲しい。 ・エアコンの修理。雨漏りの修繕。 |

(3) 連携（具体的に記載してください。）

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | ・現在はまだ連携していない。が、今年度は健康づくりを主に行っていく予定なので、今後の事業展開など相談していく予定としている。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | ・現在は、協力団体の一員であるが、事務局を担うことになるかもしれない。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | ・地域協議会が地区まちづくり委員会やセンターとどのような関係性であるのか理解できていない。地域協議会がどのような活動をされているのかもわからない。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。（具体的に教えてください。） 例えば 町内会、小学校 など | ・小中学校（ボランティア活動や子ども主体の事業展開） ・浜田市社協（ふくっぴーサロン） |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | ・住民が気軽に足を運び、集える場所づくりの提供（中庭の整備） ・子どもたちが活躍できる場所づくり（ボランティア・主体事業） ・住民の”思い”を形に（事業展開）できるようにしていく（アンケート実施） |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | ・一緒に活動していくための土台となっていくのが一番理想だと思っているが……。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年4月12日 10時00分～11時00分

センター名(⑤大麻まちづくりセンター)

委員名(上野 茂 岡本 正友)

| ヒアリング事項 | 回答 |
|---|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】センターになったことにより、新しくまちづくり事業が追加され、昨年度から「花のあるまちづくり」をその事業として位置付けて取り組んでいる。 |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 運営推進委員においては、徐々にセンター化への理解は進んでいると感じるが、残念ながら地域の方々にはその変化はまだまだ伝わっていない。 |
| (2) 現在 | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | センターと名称は変わっても、従来通りの社会教育・生涯学習の拠点としての認識が強い。協働まちづくり推進条例のキーワードとして地区まちづくり推進委員会による推進とあるが、委員会の設置によりまちづくり総合交付金に活動費が団体の規模により交付されるが、その活動費の活用には難しさを感じる。地域の方々には必要とされるまちづくり事業が当然望ましい訳であるが、総合交付金ありきで、事業を計画すると逆に地域に摩擦が生じる可能性もあるのではないかと思う。 |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。(どの分野ですか。)特色はなんですか。 | 今年度の課題を以下の3点として取り組む。 ① 少子高齢化による地域活動の衰退および大麻地区まちづくり委員会の休止状態。 ② 次世代交流。 ③ センター事業と連携する地域の団体が少ない。 まちづくりに対する意識の共有を図ることを目的とし、大麻地区まちづくり委員会再稼働への第一ステップとして位置付けしている「花のあるまちづくり事業」に取り組む。 また、この1年間を利用して、地域の方々とのコミュニケーションを図り、今後の大麻地区のまちづくりについて検討し次年度に当委員会の再稼働を含め具体的に取り組む。また若い世代の交流にも努め、まちづくりに参画しやすいセンター作りを目指す。大麻地区の歴史および史跡散策マップなどを載せたガイドブックの作成に取り組み、将来的には、歴史観光スポットとして、地域内外から集客を図り、当地区の活性化に繋げる。 体制は、センター運営推進委員からリーダー及びサブリーダーを選出し、その他人員については、地域の方々から幅広く募集を募り、大麻ガイドブック作成プロジェクト(仮称)等の団体組織を立上げる。 具体的取組として、センター便り・行事案内等をセンター職員により訪問配布し、色々な意見・要望を参考に今後の大麻地区のまちづくりに繋げる。 センター敷地内にピザ窯を造り、手作りピザ体験等の若い世代が興味を持つ事業を企画することにより、センターとの関りのきっかけにする。併せて高齢者と次世代との交流の場所作りをする。 大麻ガイドブック作成プロジェクト(仮称)等の団体組織を立上げることにより、運営推進委員は勿論であるが、地域の方々まちづくりの主役であることを実感して頂く。 |
| ③ 困っていること、改善したいことはありませんか。 | 大麻地区は、高齢化が進み世帯数も少なく、世代交代がうまくいかず例年のセンター行事の参加者は固定化している。また自治会、大麻地区社会福祉協議会、センター運営推進員等の委員・役員も高齢化し且つ同じ方が兼ねている場合が多い。その為後継者が、今後いなくなることも予想される。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 大麻地区まちづくり委員会の休止状態でもあることから、現在特に連携は図っていない。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 大麻地区まちづくり推進委員会 設立年月日:平成21年9月18日 活動休止 :平成29年3月休止 現在に至る 設立時は事務局として関与 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 地域協議会との関りは無く、浜田市ホームページから各地域協議会の会議議事録を見てその協議内容は少し理解している。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 大麻自治会、大麻地区社会福祉協議会、婦人会 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 大麻地区まちづくり委員会の再稼働に向けて、センターで新しいまちづくり事業に取組み、その事業を当委員会に引継ぐ形で再稼働を図る。具体的事業としては、「花のあるまちづくり事業」「大麻ガイドブック作成プロジェクト事業」 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 地区まちづくり推進委員会及びセンターは、共に協働まちづくりの役割・着地点は同じだと思われる。公民館のコミュニティー化検討部会の検討結果報告書によると、センター業務(事業)のまとめに「当該団体の事務局を担うなどして、まちづくり活動の推進や促進、支援等に取り組むものとする。」と記載してある。またその考え方として、「センターは、地域の状況を踏まえ、地区まちづくり推進委員会や地域団体と十分に協議を行い、地区まちづくり推進委員会の事務局を担う又は組織の一員として協力しあう関係を構築し、まちづくり活動の更なる推進等に取り組むべきと考えます。」と記載してある。浜田地域の各センターにおいては、当委員会の事務局を担っているセンターは無いと思われる。それは地域の特性として、センター地区の中に、複数の委員会があったり、地域の広さ、世帯数、人口などがによるものと推察される。こうした環境の中、組織の一員として協力しあう関係を構築し、まちづくり活動の更なる推進等に取り組むことは、現場ではなかなか難しいのではないかと感じる。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5月 20日 14時 50分 ～ 15時55分
 センター名(⑥美川まちづくりセンター)
 委員名(川神委員 村木委員)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|---|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 会場費がいらなくなった。(住民の声) 販売事業ができるようになった。 美川まちづくりセンターの名前が長すぎる。(住民の声) 現場の意見が採用されにくい。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 「どこがどのように変わったか。」という問い合わせがあった。(住民より) |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | まったく、無いように感じられます。 |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | 美川に子育て世帯を増加させたい。空家の紹介。 朝市(楽市)を今以上に活発にしたい。(昨年度開始) |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | 連合自治会がなくなったので、いろいろな課題について言うところがない。 少子高齢化が進んでいる中で、次の世代につなげるような活動をする必要がある。 領収書の宛名(センター名)が長いので短くしてほしい。 「浜田地域まちづくりセンター連絡会会長⇒美川まちづくりセンター」 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 現在でもまったくありません。 まちづくりコーディネーターには、困っていることがあるので、美川に来てもらうよう調整してほしいとお願いしているところです。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 出席するようにお願いして努力しているが今のところ出席なし。 行政には相談している。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 特になし |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください) 例えば 町内会、小学校 など | 各種団体連絡協議会を毎年5月に行っている。 具体的にはそれぞれの団体と交流している。 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 美川に住んでよかったと言われるような町にしたい。 子育て世帯を増加させたい。(空家の紹介) 現在移住した4世帯の人たちが畑を借りてジャガイモ、オクラ、サツマイモを作っている。 行政側にはお願いしている。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 地域の声を聞いて、希望、要望、困っている声等の課題を共に前向きに話し合い実施できるようにしたい。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5月 26日 13時 25分 ~ 14時 35分
 センター名(⑦国府まちづくりセンター)
 委員名(川神委員 村木委員)

| ヒアリング事項 | 回答 |
|---|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用料の徴收件数の減少により、これに伴う事務処理が軽減した。 ・使用申請書の様式が複雑になり、これの処理作業が増加した。 ・まちづくりセンターのなったことで、各地域のまちづくり組織の状況が把握できるようになった。 ・大きな変化は感じない。 |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・変化なし。 |
| (2) 現在 | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民は未だ「協働のまちづくり」という言葉を聞いたことはあっても意識はしていないと思う。 ・市主催のイベントや町内の活動ができない中で、ケーブルTVや紙媒体で難しい言葉で伝えても誰も興味を持たないし伝わらないと思う。 |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・国府地域はすでにまちづくり組織が活動されている。それぞれ特色ある活動を、広く地域に紹介するとともに活動運営に協力をしていく。 ・子どもたちの学びの場の提供(学校支援、放課後子ども教室など) ・各まちづくり組織が実施する事業はほぼその地区の住民しか参加ができないが、センターの事業はその枠にとどまることなく広く参画してもらうことができる。 ・館内外の環境整備 |
| ③ 困っていること、改善したいことはありませんか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり」と言われるが、職員としてどのような関わりをしたらよいのかわからなくなる時がある。研修を受けても、頭ではわかってはなかなか実行までは難しいと感じる。そのためのまちづくりCNの配置と思っていたがどうも違うようだ。 ・環境改善(照明の故障、トイレの様式化、壁の崩落) ・構造改革 ・センター業務が幅広い。(窓口業務など専門的な知識を身につけないと対応できない。)会議や研修などの機会が増えたが、他の業務に手が回らなくなることもある。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | ・取っていない。そもそも何をされているのか知らない。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | ・昨年度は一度意見交換会を行い、各まちづくり委員会の構成等の情報交換を行った。 ・とうがねまちづくり委員会の会議はセンター利用。事業実施される時には協力体制をとっている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | ・どのような組織か知らない。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | ・浜田東中校区各校(浜田東中・国府小・浜ろう・浜養・各保育所) ・国府地区高齢者クラブ(唐高会・甘水会) ・国府地区各まちづくり委員会 ・センター利用団体・サークル ・国府地区行政連絡員 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | ・地域を越えて関わることができる拠点。 ・地域住民が気軽に話し、相談ができること。 ・災害時の避難場所として資材の充実を図る。 ・各地域で活躍していく人材発掘・育成。 ・関わりすぎず、突き放しすぎず中立の立場で。 ・年齢の偏りをなくしていきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | ・このあたりのことはぜひ、まちづくりCNの方から教えていただきたい。 ・あくまでも中立。自らが主役になることなく、まわりが活性化していくお手伝いに徹する。 ・活動をしていくためのきっかけづくり。(体験会や講習会) ・国府まちづくりセンターの役割の明確化。 ・地域住民が地域の活動に積極的に参画するような仕掛けづくり。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5月 16日 10時 45分 ～ 時 分
 センター名(⑧久佐まちづくりセンター)
 委員名(西田清久委員(長) 村武まゆみ委員)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|--|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の増員 ・活動費の増額 283千円⇒500千円 ・新型コロナ感染拡大防止のため取りやめとする事業が多かった。少人数での活動・お出かけ学習、展示のみの文化祭を実施した。 ・センターに何を求めれているのか、よく分からない。(まちづくりセンターになった理由がよくわからない)(補助金を増やしたから良いというものでもない) |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 特になし |
| (2) 現在 | | |
| ① | <p>特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。</p> <p>地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。</p> <p>※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。</p> | <p>・「協働のまちづくり」という言葉について、認識、理解がある方は少ないと感じられる。</p> |
| ② | <p>特に力を入れていることはなんですか。</p> <p>(どの分野ですか。)</p> <p>特色はなんですか。</p> | <p>・これまで公民館で実施してきた社会教育・生涯学習事業は、地域づくり、人づくり、賑わい醸成など・・・まさしく「まちづくり」そのものであり、大きく変わったことはない。</p> |
| ③ | <p>困っていること、改善したいことはありませんか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の修繕等(事務室エアコン・コピー機、集会室遮光カーテン・ガス暖房機・天井間接照明、全館ワックスがけ…)を要望しているが、なかなか対応してもらえない。 ・若い世代、現役世代の参加を促したいと思うができていない。 ・高齢化の進行に伴う課題、移動手段、IT弱者が増えてきていると思われるが、実態が把握しにくい。 ・地域を引っ張っていくリーダー的存在がいらない。(耕作放棄地、農地を守るための組織化や中山間直払い制度なども利用できるが、経理を含めた人材不足) |

| (3) | | |
|-----|---|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | ・センターの活動に参加してもらっている。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | ・久佐地区まちづくり振興会は、従来の自治会を発展的に解消させ、H23.11に立ち上げられ、「委員会」という名称は用いていない。 ・理事は、各町内、各種団体の代表、理事推薦で選出される。理事の中から役員(会長、副会長、事務局長など)が選出され、事務局長が主に事務を行っている。 ・まちづくりセンターのセンター長が充て職の理事となっている。 ・R3.4から、まちづくり振興会の事務・会計の一部をまちづくりセンターで担っている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 特になし |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | ・今福小学校 ・同児童クラブ ・今福小学校校区3まちづくりセンター ・小学校保護者(久佐地区のみ) ・高齢者クラブほたる会 ・山陰久佐松竹座 ・久佐西組神楽社中 ・久佐東神楽社中 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | ・誰でも訪れやすいまちづくりセンターを目指す。 ・地域に出かけて声をかける、いろいろな世代の方と意見交換し、要望などを聞く。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | ・まちづくり振興会との連携を一層強化し、事務補佐などを行う。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年5月12日 9時30分～ 時 分
 センター名(⑨今福まちづくりセンター)
 委員名(西田 清久 村武 まゆみ)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|---|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 今までも、公民館がまちづくり委員会の事務局を担当していたので、特別、変化したことは無い。今福地区は、まちづくり委員会・今福自治振興会・福寿会・センター(公民館)が、車の四輪車のように、お互いに協力して運営しているので、従来と変わらないが、若年層の男女の訪問が増え、また、多くの団体・サークル・教室を抱えているので、事務室が狭く、多くの来訪者に不便を掛けている。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 利用等に変化はありませんが、「センター」の呼称より「公民館」の方が、分かり易く呼びやすいようです。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | 今福地区のまちづくりのスローガンである「支えあう・いま・福のある里づくり」に基づいた、「賑わいの創出」や「高齢者を孤独化させない」をモットーに、地域の皆さんが意識を持って、出来る範囲内で、協力し活動しているが、「協働のまちづくり」についての趣旨については、まちづくり委員以外は、あまり理解していないと思う。 |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | (1)「協働のまちづくり事業」の”産業振興”と”世代間交流事業” (2)今福小学校や今福児童クラブと連携した「共育事業」 【特色】部会が充実している事「産業振興部会」「課題解決部会」「交流・健康・福祉部会」「防災・防犯部会」「交通・見守り部会」「共育推進部会」「生涯学習部会」を設置 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありますか。 | 事務室が狭過ぎる。書類の保管場所が無い。来館者の座るスペースが無い。(4人くらいしか座れない) |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 偶数月に開催されるまちづくり委員会には、地元コーディネーターに出席してもらっている。期待するのは先進事例などの最近の情報。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 公民館の時から、センター長が「今福地区まちづくり委員会」の事務局長を担っている |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 地域協議会委員は、まちづくり委員会が推薦しているので、まちづくり委員会の一員として、委員会開催時には”地域協議会報告”を行っている。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 今福自治振興会・福寿会・今福地区まちづくり委員会・今福地区自主防災会・今福小学校・今福児童クラブ |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 特定な人だけが利用するのではなく、幅広い年代層が利用するセンターにしていきたい。そのために、土曜日(不定期)に、主に保護者と子供を対象にした”誰でもアートクラブ”や”保護者世代女性組織 ゆるり”と”保護者世代男性組織 わかすけ”による活動等、世代間交流を図る企画を行っている。また、各町内会の集会所(9町内会)で行っている”サロン”も支援していきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | センターは、今福地区まちづくり委員会・今福自治振興会・福寿会・まちづくりセンターの4本柱がスムーズに連携できるように調整する。また、アンケート調査等を実施して、地域住民のニーズを把握することに努める。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5 月 13 日 9 時 30 分 ~ 12 時 分
 センター名 (⑩美又まちづくりセンター)
 委員名 (西田・村武)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|--|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくりサポート業務が入り、忙しくなっています。また、夜間の会議も増えている。 ○ まちづくり委員会傘下組織等の業務サポートが増加している。 【パソコン業務(GG大会の集計、書類等作成、補助申請…) コピー、印刷、各団体の提出書類の受け取り…】 ○ 市業務等の問い合わせが非常に増えてきた。行政への問い合わせ(どこに問い合わせれば良いかなど) ↓ このままだと、職員が一人増えただけでは対応できないと感じている。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の色々な業務をセンターが担うのが当然といった雰囲気も出てきたように感じている。 ○ 以前より、地域の総合窓口的な役割を担う形になってきた感じます。 【市等業務、よろず相談…】 【市等に直接は聞きにくい。どこに聞いていいか分からない。】 ○ 支所に地元のことがよくわかる職員(地元職員)が少ないので、住民にとっては聞きにくいと言うことがあり、それがまちづくりセンターに回ってくる。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | <p>特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当地区は、以前より地域でできることは地域でという意識は高い方だと感じていましたが、近年の急速に進む少子高齢化、人口減少により、<u>地域でできていたことができなくなっている状況</u>である。 ○ 市道、河川の草刈、要支援者宅のサポートはもとより、市道の支障木伐採、道路水路の詰まり除去、イノシシ等による道路への崩土撤去、河川の堆積土砂の撤去など重機等を使用し地域で実施した例もある。 ○ 条例が制定されたということで特別意識が高くなったとは感じていない。 |
| ② | <p>特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地区に美又温泉があることから、美又地区が楽しそうで、好感を持っていただけるような地域になるよう住民の意識を高める必要がある。(おもてなしの心) ○ 関係人口の拡大。(美又地区の応援者を増やす。) |
| ③ | <p>困っていること、改善したいことはありませんか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ センターが高台にあり、歩いての利用は難しい状況。 ○ コロナ対策の消耗品の費用をセンター予算から出さないといけないので、他の事業に影響がくる。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 状況等の意見交換。 ○ 行事や会議への参加。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ センターはまちづくり委員会の事務局を担っている。 ○ 昨年度末、まちづくり委員会と自治会を合体して、「美又湯気の里自治協議会」を設立し、役員も町内会輪番制とし今年4月から新たなスタートを行った。実質はこれからだと感じる。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協議会委員は、まちづくり委員会の正・副会長が務めており、役員会等で情報交換をおこなっている。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | <ul style="list-style-type: none"> ○ 金城地域6センター(センター長会、主事会、行事の連携) ○ 今福地区3センター(今福小児童を対象とした連携事業の開催等) |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域活性化の活動拠点 ○ 人づくりの学習拠点 ○ 地区のよろず相談所 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務的サポート ○ 団体間連携のサポート |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年5月24日(火) 15時15分 ～ 時 分
 センター名 (⑪雲城まちづくりセンター)
 委員名 (西田議員、村武議員)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|---|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 社会教育に関わる部分は、継続したままで、そこにまちづくり委員会の拠点としての事務局となり、業務(負担)が増え、多忙になった。(まちづくりセンターの中にまちづくり委員会が入るイメージで、夜の会議が多くなった) 今まで行っていた、活動のふりかえりの時間がとれなくなった。(地域の人の声を聞く時間がない) |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | コロナの影響で、まちづくり委員会の総会を開くことが出来ず、町内におろすことが出来なかった。そのため、まちづくりセンターに変わって、何がどのように変わったか十分認知されていないと思う。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | 「協働のまちづくり」の理解を深める機会がなかった。また、働きかけも不十分だった。 |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | 今まで培ってきた社会教育を基盤として、人づくり(関係づくり)を重点を置き、委員の構成を工夫した。その中でも、 ①歴史を通した関係づくり～岡本甚左衛門 ②自然を通した関係づくり～環境に繋がるハッチョウトンボ関連の事業、雲城山登山 ③UターンやIターンの人たちを中心とした「ゆうあいの会」の活動を通して ④まちづくりセンターに来やすい雰囲気づくりを作るための喫茶コーナーの設置 ⑤「共育」に関しては、小中学校との連携をしっかりとれている。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | 主事の数が絶対に足りない。いろいろなことに関われば関わるほど、仕事量が増える。旧市内と同じような人口ペースでの人数配分は考え直してほしい。(3000人以下であっても、主事を1人増やしてほしい) 若い人をまちづくりにどう引き込んでいくか。(若い人のグループ作りをどうするかを考えていきたい。) |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 週に何度かは、まちづくりセンターの来所されますが、十分連携が取りにくい。まちづくりコーディネーターの業務内容がよくわからない。定期的にセンター長会などを開き、関わりを作るといいと思う。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 事務局をまちづくりセンターに置き、連絡を取り合っているが、会って話をする機会をもう少し増やしたい。委員会の中の体制(組織づくり)を進めていくことが必要。昨年度住民に行ったアンケートをもとに、要望を実現する部会の設置を検討していく。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | まちづくり委員会の役員となっただき、行政とまちづくり委員会とのそれぞれの様子を伝えてもらい、情報交換を図っている。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 雲城コミュニティー自治会 雲城小学校、金城中学校 食改 児童クラブ |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 開かれたセンターづくりをしていく必要を感じている。単純にセンターによって気楽に話ができるセンターであっていいと思う。人と人が出会うことで、繋がりも広がっていくと思う。今年度は、交付金を渡した団体の方に年度末に活動報告会を行い、互いの活動を知る機会を設け、その際、住民の方にも会への参加を呼び掛けることにした。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 町内の地域の結びつきがコロナの影響で希薄になりがちで、そんな中で人と人をつなぐことがセンターとして必要だと思う。特に若い人を取込む工夫をしていきたい。センターだよりの内容を、まちづくりを視点におき、広報活動の充実を図りたい。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5月 24日 13 時30分 ~ 15時 分
 センター名 (⑫波佐まちづくりセンター)
 委員名 (西田・村武)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|--|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 ・職員が3人体制、また男性が増えたことで相談や意見がいろいろでて三人三様の意見があつてよい。 ・まちづくり委員会会長がセンターに来られる機会が多く相談ができる。地域の情報も入る、人とのかかわりが多くなった。 ・公民館時代は小国と一緒にまちづくりの組織だったが、センターになり波佐だけの組織(自治会→まちづくりを立ち上げた。事務局を担っている。 ・センターになって、公民館時代には来られなかった方が来られるようになった。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | ・まだ公民館のイメージがあり変化はない。昭和49年5月開館であり、公民館の歴史が長い分、センターへの意識変化には相当の時間が要すると思う。 ・住民への説明が難しい。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などご感想をお願いします。 | ・意識を持っている方は少ないと思われる。 ・自治会からまちづくり委員会の理解も浸透していない。 ・昨年はまちづくり委員会は手さぐりの状況である。 ・一部の住民が実施しているように感じる。 ・どうやって進めていけば良いのかわからないような気がする。 |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | 無償ボランティアタクシー:住民の交通手段が課題だったので、波佐地域内限定でR2年12月から試験運行を始め、R3年4月から正式運用となった。車両は地元の方から提供され、修理、維持費はまちづくりの予算から出ている。ドライバーは地元住民6人が無償ボランティアで行っている。利用料金は無料。申込やドライバーの手配をセンター職員が行っている。大変喜ばれている。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありますか。 | ・センター事業に積極的な参加が少ない。声掛けとしているが難しい。 ・年齢層に幅がある。魅力あるものは何? |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | | |
|------|---|---|---|
| +13: | ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 特にとっていない。積極的にセンター事業に参加される。情報交換もある。 |
| | ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | ・無償ボランティアタクシーの配車、日程表などの事務。 ・まちづくり委員会の会議等全体を把握している。 |
| | ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | ・まちづくり委員会会長、センター主事が委員である。 |
| | ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校など | ・保育園・小学校・地区社協・自主防災・スポーツ少年団・駐在所等と共催事業を行っている。 |

(4) 将来像

| | | | |
|--|---|--|---|
| | ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | ・協働のまちづくりのイメージ図はやや理解しているがこれから考えていく。今年度まちづくり委員会の組織体制が出来たところです。 |
| | ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | ・魅力あるまちづくりとは？ 地域とは？ 地域の方へまちづくりについて伝えるには～具体的にどうすれば？ 問題が多くあります。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5月 16日 9時～ 10時30 分
 センター名(⑬小国まちづくりセンター)
 委員名(西田・村武)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|--|--|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員が1名増員になり、ゆとりができた、視点が広がり、仕事の幅が広がった。休みが取りやすくなった。 ・まちづくりセンター、センター長という名称に慣れない。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・名称に慣れない。いまだにほとんどの方が公民館と呼ぶ。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | <p>特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。</p> <p>地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。</p> <p>※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などころで結構です。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・意識を持っている方は少ないと思われる。 ・自治会からまちづくり委員会になったが、その理解も浸透していない。 |
| ② | <p>特に力を入れていることはありますか。(どの分野ですか。)</p> <p>特色はなんですか。</p> | <p>健康についての事業を計画している。浜田市の事業の「ハマチャレ」をセンターで取り組みたい。→市の担当課と連携して</p> |
| ③ | <p>困っていること、改善したいことはありませんか。</p> | <p>高齢者の交通手段に困っている。センターまで来たくても来れない状況である。まちづくりセンターに公用車が欲しい。(波佐まちづくりセンターとの共有でも良い)</p> |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | センター事業やまちづくりの事業を見に来られた。連携はとっていない。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | センターが事務局を担っている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校など | |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 高齢化の地域で、皆さん頑張っておられる。しんどい時にはセンターを頼って欲しい。そこから協力し合える地域になったら良いと思う。高齢者の見守りに関わっていきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5 月 26 日 13 時 30 分 ~ 15 時 10 分
 センター名 (⑭今市まちづくりセンター)
 委員名 (芦谷、柳楽)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|---|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 これまでどおりで特に変わったことはない 職員には、公民館とまちづくりセンターとの両方の意識がある |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 住民も変わったことに気がついていない、変わったという意識は薄い |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | 住民の声を聞くことで、住民が育ち、意識が出てきている まちづくり計画は平成30年～36年で、改定する予定(他4館は年度がそれぞれ違い、都川、市木は令和3年度に改定した) |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | 動く住民をつくって行く、育てていきたい センターと住民の意識に差があるので、それを変えるよう努力している 研修に参加するようにしている 今年から、それぞれの自治会や団体から行事予定を出してもらい、情報共有して協力できることは協働してもらえよう工夫している |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありますか。 | 空き家対策、交通の確保、耕作放棄地、災害時避難所開設、高齢者の一人暮らしが多くその対策 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 三隅ではコミュニティナースが健康に関する情報を載せたたよりが配布されている。このような取組みは全市に広げてほしい。旭地域でも広げたい コーディネーターの活動は、まちづくりセンターか、地域か、まちづくり推進委員会か、住民組織が動きやすいように助言ではなく、調整役を担ってほしい 本庁が拠点となったことで連絡を取りやすくなった |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 草刈りは今市のみでやっていたが、四つ葉振興会として取り組む調整役に徹する |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 以前は事務局が地域協議会だよりを出していたが最近はなくなっていたので、今年度から再度協議会だよりを出してもらうよう要望した 地域協議会のことが分からず、会議を傍聴するようにした |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 社協とのかかわりで、高齢者クラブが空き店舗活用をしている 小中学校、まごころ福祉協議会、四つ葉助け合い隊、県立大学、放課後児童クラブ、子ども会、ふれあい運動会 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 住民がやりたいこと、センターがすべきことを仕分けてキチンとしたい まちづくりセンター運営推進委員会が機能するようにしたい まちづくりセンターは、まちづくり推進委員会に一番近い存在で、動く、役に立つセンターにしたい |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | まちづくりセンターは、地域の人が考える場づくり、黒子になるようにしたい 存在感、やりがい感のあるまちづくりセンターに(集って、楽しんで、学んで、動いて、変えていく) 住民にとって関わり易く、一番近い存在でありたい 困りごとや問題点の解決の手助けをしたい |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年5月17日 15時 15分 ～ 16時 45分

センター名(⑮ 木田まちづくりセンター)

委員名(芦谷、柳楽)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|--|---|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 名称が変わっただけで、特に変化はない。 平成30年からまちづくり推進委員会と自治会は一体でやっており、変化の実感はなく活動しやすくなった。 業務は増えたが人員も増え、センターを締めることがなくなり(短時間)、社会教育、まちづくり、会計など役割分担している。 センター長は「くらしの学校」に席がある |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 呼びやすい名前が良い、公民館の方が良い |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などで結構です。 | 名称を変更しても以前と変わらず、協働のまちづくりの理解は薄い 浜田に引っ張られると反発があり、まちづくり推進委員会そのものに理解がされていない |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | 高齢化が進み、高齢者福祉に力を入れるべきである 耕作放棄地の活用でヒマワリを植えて油にしている。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | 若い人は仕事があり、役員のなり手不足がある 高齢者クラブ(寿幸会)の役員のなり手がなく、高齢者クラブはなくなるのではないか |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | コーディネーターが支所、本庁勤務、どのように活用するのか、地域に入ってやるべき、体制や仕事をきちんとすべきである。 コーディネーターに協力してもらい、計画書を作成したいと思っていたが難しくなった。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | まちづくり委員会と自治会は役員が同じ。 会長、副会長から、予算を持っておりセンターに任せるとしている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 地域協議会委員2名(自治会長、主事) |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | まごころ福祉会、にこにこ会(ヘルパーの会)、なでしこ会(サロン運営の母体)、高齢者クラブ、グランドゴルフの会 これら各団体などから評議員を出している。 運営委員会(大工さん)の提案で、包丁のとぎ方教室を行った。 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 若い人が参加できるよう、これからじっくり取り組みたい。 気軽に立ち寄れる場にしたい。 地域の人がやりたいと思うことを実現できるよう支援していきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 若い人にとって、自治会にギャップがあり、これから育てていきたい。 何でも相談していただける、支援するセンターにしたい。 住民と組織のつなぎ役 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5 月 17 日 13 時 30 分 ~ 14 時 50 分
 センター名(⑩和田まちづくりセンター)
 委員名(芦谷・柳楽)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|--|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 事業やまちづくり推進委員会との連携に大きな変化はない。公民館時代は、まちづくり組織の事務をまちづくりの事務局と公民館主事が行っていたが、センターが中心となったので大変になった。長い目で見ないと成果は出ないと思う。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 「(2) 現在①」とも関連してまちづくりセンターに移行したことによる公民館との違いについてズレが見られる場合がある。まちづくり組織の中心をセンターが担っていると勘違いしている人もいる。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などところで結構です。 | 当館職員としての見解は、地域住民に「協働のまちづくり」についての意識が高まっているとは感じられない。その理由は、3つある。1つめは、当館としても反省すべき点であるが、「協働のまちづくり」についてのPR不足(「協働のまちづくり」の趣旨自体もそうだが、それを踏まえた活動の充実)。2つめは、「(1)変化①②」と関連して、まちづくりセンターの役割についての理解にズレがある。3つめは、「住民主体の意識をもって取り組んだり、まちづくりセンターに協力したりしてくださる少数の方々」は、まちづくりセンターに移行する以前から変わらずにいらっしゃる一方で、関心の薄い大多数の方々にも変化がないことがあげられる。 住民主体であることをPRしなくてはいけないと感じている。 |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。(どの分野ですか。)特色はなんですか。 | 耕作放棄地への対応は、地域住民が主体となって積極的に進めようとしている。収益性や作物の工夫など今後の展開も考えている。農地が荒廃しているという住民の声があり、地域の困りごとを解決するために平成29年から構想を始めて、現在エゴマの栽培を行っている。今後、和紙の楮栽培も話に上がっている。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | 「協働のまちづくり」はもちろん、まちづくりセンターの事業、まちづくり推進委員会の事業に参加してくださる住民の方を増やすためのPRの工夫。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 今年度、大屋マサ子CNには、すでに4回来訪していただき、こちらからの問題提起(予約型のりあいタクシーの活用)についての助言やあいのりタクシーの活用事例、まちづくりセンターに関する運営推進委員会の設置条例の説明、職員の研修など多岐にわたってご指導いただいている。今後も5館連携に関する取り組みについてご助言と、各関係機関との連絡調整を行っていただく予定。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 地域住民が主体となり運営できるように、すでに主体的に活動している部分ではこちらチームの一員として積極的に関わり、連携を図っている。一方で、地域住民が主体的に取り組みにくい面では、「協働のまちづくり」の趣旨について伝わるように、事務局としての関わり方や支え方を工夫している。未経験の人でも事業の運営ができるよう、マニュアルを作成している。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 現在、当センター職員・まちづくり推進委員会メンバー(各自治会長)が地域協議会の委員になっているので、意思の疎通という面では問題ない。一方で、実際に起きている地域課題について直接、地域協議会へ訴える形にはなっていない(直接、市役所の担当部署へ働きかけるなどするため)。→地域協議会設立の趣旨から今後も地域協議会は必要であると考えている。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 各町内自治会、地区社協、民生委員、小・中学校、各地区青年団、子ども会、食生活改善推進協議会、警察(駐在所)、消防、JA、八戸川漁協 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 世代を越えて地域住民が立ち寄りたくなる場所(心の居場所・自己実現の場所・学びの場所・交流の場所)としてのまちづくりセンターにしていきたい。そのために「10年先を見据えた協働のまちづくり」を目指す。 具体的には、新規事業を立ち上げるだけでなく、現在の事業を継続する中にも「10年先」という意識で見直しや工夫を加えていく。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 「10年先を見据えた協働のまちづくり」を進めるにあたり、住民の意識が主体的に変わっていくように粘り強く働きかける。残すべきもの、変えていくべきものがわかるように地域住民の活動を支えていく。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年5月17日 10時00分～11時50分
 センター名(⑰都川まちづくりセンター)
 委員名(芦谷、柳楽)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|--|---|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 広報に力を入れており、支所にあるカラーコピー機を使用しているまちづくりセンターでまちづくり推進委員会のことをみることになり、事務を執っている 自治会などの年度を、12月締めから3月締めに変え、役員任期を2年？にした 主事が2名体制になり、センターを留守にすることが減った。 まちづくり組織の内部が見えるようになったし、情報共有が良くなるようになった。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | まちづくりセンターとまちづくり推進委員会が、住民にとって分かりにくく混同している。一部にしか理解されていない。 自治会に固執している住民がいる。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | 自治区制のこともあり、住民の理解は深まっていない。 変化が感じられていないから実感がないのだと思う。 |
| ② | 特に力を入れていることはありますか。 (どの分野ですか。) 特色はありますか。 | 広報活動。 住民の声をできるだけ聞きながら運営をしていきたい。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありますか。 | 公民館時代から子どもに目が向いており、子ども事業で10万円の交付があるが、地域に子ども4人(小学生2、高校生2)で使いようがない、子どもの人数に応じて予算を考えた方がいいのではないかと。高齢者を対象にした事業を行うべきだ |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 新コーディネーターと連携を持ちたい。地元とコーディネーター、双方が何をすれば良いか、何をしてほしいかが分からない状況だと思う。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | まちづくり推進委員会は充て職で委員を選任しており、連合自治会長が会長、センター長が事務局長 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 委員として、まちづくり推進委員長、女性枠1の2名出ている地域協議会での内容は、以前は自治区たよりで周知されていたが、特に地域の会合で報告は行っていない。地域の声を吸い上げて持つて出る仕組みが必要だと思う。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 社会福祉協議会のまごころ福祉協議会(地域)、自主防災部会として活動、趣味の会、高齢者クラブ(休み) |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 来ていただける、寄ってみたいくなるセンターにしたい高齢者が多い地域なので、高齢者に喜んで参加してもらえる企画を考えていきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | センターはつなぎ役を果たしたい。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5月 24日 13時 15分 ~ 15時 00分
 センター名(⑩ 市木まちづくりセンター)
 委員名(芦谷・柳楽)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|--|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 特に変化は感じていない。 移行後3年の内に検証を行うと聞いている。 |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | | 公民館がセンターになったことも、令和4年4月1日から自治会とまちづくりを統合したことも、住民の理解は進んでいない。 |
| (2) 現在 | | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などところで結構です。 | | 高齢者が多く、住民の5%にも満たないと感じている。 |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | | ほたるが多いのでほたる祭りを開催してきたが、コロナで祭りが実施できなくなった。賑わいのひとつになっていたので、今年はほたる観賞ツアーを計画している。 活性化は死語。現状維持がやっとなのである。 |
| ③ 困っていること、改善したいことはありますか。 | | 3人体制になったが、まちづくり担当がどのように動けばいいか苦慮している。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 昨年、まちづくりの計画書の見直しを提案されたが、まだ進んでいない。関係会議等に積極的に出席してもらっている。前任者が辞められた理由が知らされていないことが気になっている。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 事務局を担っているが、主体となてはいけなと考えているので、報告・連絡役を努めたい。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | まちづくりの会長が協議会委員なので、毎月行っている会議の時に必要なことについては説明されている。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 地区社協、サロン・食う会(食改のようなもの) |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 人が来ないのが悩み。気軽に立ち寄れる場所、来たくなる事業を計画していきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 支援に徹したい。あくまでもまちづくり組織の本体が中心になって運営するべきだと思う。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年 5月 16 9時 25分 ~ 10時 30分
 センター名(⑱安城まちづくりセンター)
 委員名(川神委員 村木委員)

| ヒアリング事項 | 回答 |
|---|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の公民館活動に変化はありません。 ・弥栄のみらい創造会議の事務局を担っているため、連絡調整に限らず、各種会議、イベント等のレジュメ、資料作成、会場準備、また会計処理、事業申請、実績報告等、業務量は格段に増えています。 |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・名称が変わったことによる変化は無いように感じます。 ・まちづくり活動への意識は依然として低い状況です。 |
| (2) 現在 | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、現実の生活上、以前と比べて大きく変化が無いことがまちづくり意識の低調の主因と思われます。 ・コロナの影響もあって、活動が制限されているため、目に見える活動を今年度は積極的に実施する必要があると考えています。 |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。(どの分野ですか。)特色はなんですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・従来の公民館活動と変わらず、地域住民の賑わいの創出、学校支援に力を入れています。 ・特に地域住民の方には、各サークルやセンター事業に楽しく参加できるよう努めています。 ・家に引きこもらないよう、とにかく出かけてもらえるような取組を日々考えています。 |
| ③ 困っていること、改善したいことはありませんか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しく組織した弥栄のみらい創造会議と一体となった取組を進めているところです。 ・特に再建が決まった体験村について、指定管理者になることとしており、綿密な計画づくりを進めています。 ・弥栄町は高齢化率が高く、後期高齢者の割合も非常に多いので、センターやまちづくりの活動に参加したくても、地域内交通の充実を図らないとどうにもなりません。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・当センターでも、弥栄のみらい創造会議でも特に必要という状況にはありません。 ・当初の目的通りチームを組んで、まちづくり組織未設置の地区で設立のために尽力されるのがよいと思います。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・4つの部会を設けており、それぞれ事業展開をされていますが、計画から実施まで深く関わっています。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・センターと地域協議会との直接的な関わりはありません。 ・弥栄のみらい創造会議の委員が地域協議会の委員になっていますので、認識は一緒だと思っています。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長会…弥栄のみらい創造会議の母体です。 ・小中学校・杵束まちづくりセンター…各種の取組を杵束まちづくりセンター、弥栄のみらい創造会議と連携して実施しています。 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内の様々な活動の拠点となると思います。 ・活発な活動により賑わいを取り戻すには、センターに集える手段が必要不可欠です。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行政側の人員もサービスも周辺部は先細りするのは目に見えている状況です。 ・これに取って代わる役割を担うのが、まちづくりセンターになると思います。 ・人材も予算も更なる充実を望みます。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和4年5月20日(金) 13時30分 ~ 14時30分
 センター名(⑩杵束まちづくりセンター)
 委員名(川神裕司委員、村木勝也委員)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|---|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | | ・センター職員の業務の変化 公民館業務の「社会教育・生涯学習の推進」に、「協働のまちづくりの推進」の業務が加わったことで、弥栄のみらい創造会議(弥栄地域のまちづくり推進委員会)の事務局として、事務作業や会議出席などまちづくり活動の支援に関する業務量が増加しました。 |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | | センターを新築して頂いたタイミングで、公民館からまちづくりセンターに移行しましたので、名称の変更については、年度当初から地域住民の皆さんも切り替えがしやすかったのではないかと思います。 業務内容については、住民の皆さんに特に変化はなかったため、公民館時代と同様に支障なく利用して頂いていると思いますが、センターの使用料について光熱費の負担がなくなったことは喜んで頂いています。 |
| (2) 現在 | | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | | 言葉としての「協働のまちづくり」を意識されているかは不明です。 地域の皆さんが普段から行われている自治会活動やボランティア団体の草刈りや地域を盛り上げるためのイベントの手伝い・参画などが「協働のまちづくり」の例になると考えています。 このように地域の皆さんは、無意識のうちに「協働のまちづくり」を実践されていると思います。 |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | | ・既存の事業の魅力化による参加者数の増加を目指す。 ・フレイル(加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱になった状態)予防対策 ・百歳体操(毎週木曜日開催。参加者10~16人)を核にして、おりがみ教室やお茶べり会(茶話会)を合わせて開催することで、参加者同士の交流の場をつくり、百歳体操の魅力化を図っていることです。 |
| ③ 困っていること、改善したいことはありませんか。 | | ・地域の皆さん、特に若い世代に、弥栄のみらい創造会議が計画するまちづくり事業に参画して頂くように促すことです。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 毎月1回開催するセンター連絡会議(構成:安城・杵束まちづくりセンター職員、小・中学校長、支所職員、派遣社会教育主事、社会教育委員、まちづくりコーディネーター)や弥栄地域担当の檜谷コーディネーターを介して、まちづくりセンターの行事や会議の情報を他のコーディネーターに伝えて頂きます。 それぞれのコーディネーターには分野に応じて来所して頂き、行事等にアドバイスを頂きます。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 杵束まちづくりセンターのセンター長が、弥栄のみらい創造会議の事務局長、主事は事務局職員として、弥栄のみらい創造会議を構成する部会の事務を担当し、会議に出席し、運営を支援します。 *安城まちづくりセンターの職員は、全員が事務局職員として、全般の事務・会計と部会の事務を担当し、会議に出席し、運営を支援しています |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 関係する議題があるときに、傍聴するようにしています。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | <ul style="list-style-type: none"> ・安城まちづくりセンター ・弥栄小学校 ・弥栄中学校 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆さんが集い、交流し、学ぶ機会の多いセンターにしていきたいと考えています。 ・継続事業・新規事業に関わらず、地域の皆さんの考えを伺ったり、まちづくりコーディネーターに関わって頂くなどして、地域の皆さんが関わってみたい、参加してみたいと思われるような事業内容になるように努めたいと思います。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 弥栄のみらい創造会議が策定した「弥栄地区まちづくり計画」に基づき、地域課題の解決に向けた取組や魅力あるまちづくりを推進するために、計画の中でセンターが担当するとされた事業に取り組むとともに、担当部会の事務作業や会議に出席・会議結果の取りまとめなどを行うことで、まちづくりの活動拠点としての役割を担います。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5 月 12 日 15 時 00 分 ～ 16 時 30 分
 センター名 (㊾井野まちづくりセンター)
 委員名 (上野・岡本)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|---------------------------------------|---|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 特に変化ありません。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 公民館からまちづくりセンター名前が変わったことで、何をすると、何かこれまでと何が違うのか、疑問の声。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などころで結構です。 | お持ちでないと思います。しかし、いのまる広場について、だんだん各教室等から自主的に参加依頼を受けるようになってきた。バザーや作品販売・発表会等。 |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありますか。 | |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | いのまる広場に関する事業について、毎月の開催内容等、必要に応じて他団体との調整等に関わっていただいている。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 各部会に職員が入っている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | まちづくり推進委員会INO会長他1名 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 井野地区公共交通運営委員会(井野っ地号)について 小中学校 いのっ子クラブ |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 地域の課題を中心に、みんなで話し合いを重ね住みやすい地域にするために地域があつてのセンターの役割があると思っていますので、地域のみなさんが利用しやすい環境にしていきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | 地域住民が主体のまちづくりですので、センターはいろんな情報提供等し、まちづくり活動が出来るようアドバイザーであること。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5月 9日 9時 分 ~ 時 分
 センター名 (①岡見まちづくりセンター)
 委員名 (上野委員 岡本委員)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|--|---|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | 【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】 まちづくりセンターになっても活動の内容に特に変わりはない。地区まちづくりに関してもこれまで通り行っている、ただ、名称が似ているので地域住民にとって混乱することがあるのではないかと思う。地区まちづくり推進委員会の事務局をまちづくりセンターが担っている為、センターとまちづくり推進委員会との連携した事業が多い。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 公民館としての看板は残っている、また、地域住民は活動拠点として施設の形が変わっていないので抵抗はないと考えている。また、少しずつセンターとしてイメージが出来つつあると思う。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などころで結構です。 | 地域住民は、特に「協働のまちづくり」について意識を持っている様子はなく、地域住民は、課題の解決は行政が行ってくれるとの思いがあると思う。 (センターとして自助公助を踏まえて地域住民と関わって行きたい) |
| ② | 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | 生涯学習の推進、地域づくりまちづくり、福祉活動、人権同和教育の推進、防災学習事業の取り組み。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありませんか。 | 住民のまちづくりに対する関心が希薄になっている、各団体等の役員の担い手不足などにより、地域活動の停滞が懸念される。センターとして後継者を育てるために地域活動に参画を呼びかける努力はしている。地域の活性化に繋がる起爆剤となるものがあればと思うが、改善策は、見つかっていません。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | センターだよりの広報誌に載せるコミュニティナースとして地域の方に健康づくりの情報を提供してもらっている。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 事務局をまちづくりセンターが担っている為、センターとまちづくり推進委員会との連携した事業が多い。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 地区まちづくり推進委員会の役員(副会長)3名が参加している。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | 岡見地区まちづくり推進委員会・岡見自治振興会・岡見地域福祉推進協議会 岡見小学校・岡見小児童クラブ 他 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 地域住民一人一人と関わりを持ち利用されるセンターを目指す。 また、住民とのつながりが出来るようなセンター事業(センター祭り、健康ウォーキング等)を行う。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | センターとして自助公助を踏まえて地域住民と関わって行きたい。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日時 令和 4年 5月 9日(月) 時 分 ~ 時 分
 センター名 (㊾黒沢まちづくりセンター)
 委員名 (上野委員 岡本委員)

| ヒアリング事項 | | 回答 |
|---|---|----|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三隅は以前から黒沢まちづくり委員会の事務局として活動している。事務的には仕事の負担も多いが、センターになっても忙しいのは変わらない。 ・公民館時代と大きな差は感じていない。 <p>課題…センターからの意見が言いにくくなっている。</p> | |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のみなさんから多分な協力していただいるが、高齢化が進み地域の方に負担が少ないように考えている。 ・異動してきて1年なので以前のことはわからないが、大きな変化はないのでは、と思う。 | |
| (2) 現在 | | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などところで結構です。 | <ul style="list-style-type: none"> ・すでに黒沢まちづくり委員会は、協働のまちづくりへ向けて活動をしている。出身者の方との関係人口・他地域との交流人口・活動人口へと展開して活動計画も進めている。また、昨年度からは福祉弁当(配食を含む)やちい助弁当・いいね、黒沢。(3年目)のお米販売活動にも力を入れている。 ・黒沢地域の方は、今までも関係人口の拡大や持続可能なまちづくりへの活動を行ってきた。"協働の"という新たな文言を提唱しなくても理解はされているのでは。ただ、今後自然減に向かう地域の中で「これ以上求められても…」という気持ちはあると感じている。 ・ほとんどの方の認識はなく言葉も知らない方が多いと思うが、黒沢地域は地域活動を活発に行っていると思う。 | |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆さんが事業に参画しやすい配慮(運営の軽・事業の合同開催) ・黒沢出身者の方との関係・交流をより深くする活動。 ・健康福祉 ・地域住民とのコミュニケーション | |
| ③ 困っていること、改善したいことはありませんか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・若者(学生・子供たち)の参加や力が欲しい。 ・少子高齢化が進んでいることで、休耕田や周辺環境へも課題が出てきている。 ・困っていること…施設管理(草刈り)に年2回業者委託でセンターとまちづくり委員会予算合計20万円余りを投じて行っている。間では職員が勤務時間に草刈を行っているが超勤となっている。 ・子ども対象の事業が組みにくいので少数ではあってもはまだ子育ての事業推進を改善したい。 | |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉弁当利用者当の関係・はつらつ健康教室・六地藏道ウォークの健康支援常にかまちづくり委員会と連携して活動している。 ・三隅地域は、健康福祉分野のCDさんなので、黒沢の健康福祉部会で深く関わってもらっている。 ・ほとんどの連携はなく、毎月1回センター便りに掲載する記事をメールで頂くのみ。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・常にまちづくり委員会と連携して活動している。 ・特にちい助のちい助弁当 福祉弁当・いいね、黒沢。米販売の支援に関わっている。 ・まちづくり委員会と両輪とらえている。 ・各委員会の方との会話を増やし、様々な意見を貰えるように心がけている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・代表の方に地域にしてほしいことを意見を言える場所がある。各地区の常会・まちづくり委員会役員会等。 ・地域業議会議員さんが、黒沢まちづくり委員会役員会でフィードバックしてもらって情報共有が図られている。 ・コミュニケーションはきちんと取れている。 |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | <ul style="list-style-type: none"> ・三隅小学校 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|--|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも気軽に立ち寄れるまちづくりセンターに心がけている。また、出身者の方が帰ってこれる居場所づくりにも力を入れている。 ・地域の方から「頼ってもらえるセンター」「人と人をつなぐセンター」「愛されるセンター」 そのために ・地域へでかけること・地域の人と対話を続けること。 ・地域住民が気軽に遊びに来てくれるようなセンターにしたい。入館する際に緊張するようなセンターではダメだと思う。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人と人とを繋ぐコーディネーター役。 ・地域に有用な情報を提供すること・地域の声を聴くこと。 ・地域活動への参加者を増やす為に、若年層へのコミュニケーションやアプローチを増やしていきたい。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5月 16日 9時 30分 ~ 11時 30分
 センター名(②④三隅まちづくりセンター)
 委員名(上野副委員長、岡本委員)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|--|--|-----|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修会が少ない。 ・教育委員会との関係が遠くなった。 ・使用料の徴収が変わった。(営利目的団体の利用が増えた。体育館の利用数が増えた。貸し館利用者に喜ばれている。) ・まちづくりセンターの業務でまちづくり推進協議会の事務量が多い。まちづくり推進協議会の役員が主体的に活動を進めるので事業内容の変化は見られない。しかし、(個人の意見ですが)“公民館”より“まちづくりセンター”に変わってからのほうが意見が言いやすくなったように感じる。 ・生涯学習企画推進委員会がなくなり、三隅地区生涯学習地域推進委員会もなくなった。別枠の予算がないことから格付けが解らなくなったように感じる。 ・まちづくりコーディネーターが配置された。 | |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | 「名前が変わった」くらいの認識。 | |
| (2) 現在 | | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的などところで結構です。 | ・まちづくり推進協議会の役員や委員、まちづくりセンターに関わりがある人はある程度意識があると思う。その他の住民にとっては他人事のように感じる。 | |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | 青年層や壮年層の参画・ふるさと共育・人材育成 (リアンマルシェ、みすみっ子チャレンジ教室、まちづくり推進協議会活動) | |
| ③ 困っていること、改善したいことはありませんか。 | 派遣社会教育主事が2名配置されているが、まちづくり社会教育課と教育委員会に分かれている。社会教育やまちづくり活動推進について相談や助言してもらえる指導者や支援者が欲しい。 | |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|--|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 事業の参画、サポート |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 事務局 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進協議会からの推薦になっているのでまちづくり推進協議会役員が地域協議会の委員になっている。 ・まちづくり推進協議会の会議に併せて地域協議会の報告を行い、地域協議会の協議内容を各地区へおろしている。 |
| ④ | <p>その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。)</p> <p>例えば 町内会、小学校 など</p> | <p>三隅地区まちづくり推進協議会、自治会、集落、三隅小学校、三隅中学校、リハビリテーションカレッジ島根、各種教室(サークル)、防災自治課、三隅地域の各まちづくりセンター</p> |

(4) 将来像

| | | |
|---|---|---|
| ① | <p>今後、どのようなセンターにしていきたいですか。</p> <p>また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が気づいたこと(地域の課題)や、やりたいことを楽しみながら活動して実現してほしい。 ・いろんな世代やいろんなジャンルのグループがたくさんできること、「楽しく安心して暮らせる三隅地区」に向かう。 ・センターの役割を地域住民が理解して利用(補助金や施設、人脈など)してもらえる存在にしていきたい。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・三隅地区住民の豊かな暮らしづくりの為に地域住民同士、学校、市役所、民間企業などあらゆるジャンルをつなぎあわせてコーディネートする。 ・地域活動が進むように地域とまちづくりセンターが伴走し、地域リーダーを育成する。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5月 9日 14 時 ～ 15時
 センター名 (㊷三保まちづくりセンター)
 委員名 (上野議員 岡本議員)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|---|--|--|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | | <p>【よくなった点や、課題だと感じる点などご自由にお書きください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料等の負担がなくなり市民の方に気軽に使ってもらえるようになった。(例として高齢者の居場所として囲碁をするために週に何度も利用されている) ・魚の移動販売が週に一度センターに来るようになり、地域の方から喜ばれてる。 ・職員の仕事量は公民館時代から、まちづくり委員会の事務局をしてきたので、大きな変化は感じていない。 |
| ② 地域住民の理解に変化はありましたか。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・センターを利用されている方は、利用しやすくなったと感じているがほとんどの方は、名前が公民館からまちづくりセンターに変わったぐらいと思っている。 |
| (2) 現在 | | |
| ① 特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。 地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。 ※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・「協働」という言葉が地区全体に浸透しているかと言えば、浸透していると感じない。 ・三隅地域は以前からまちづくり委員会の事務局を公民館(現まちづくりセンター)が担ってきたので、委員会にかかわってきた人は、すでに協働のまちづくりをしてきているとの認識を持っていると思う。 |
| ② 特に力を入れていることはなんですか。 (どの分野ですか。) 特色はなんですか。 | | <p>三保地区の資源を活かしたつながりのある地域づくりに力を入れている。高齢化率約45%、人口約1,600人で約800世帯、高齢独居の世帯が多いため、地域のつながりづくりが必要である。 「防災デイキャンプ」は、田ノ浦海岸・B&G海洋センター・オートキャンプ場等でスタッフも楽しみながら防災をテーマに子どもから大人まで一緒に学びのあるキャンプを行った。「秋の健康フェア」「三保なべフェスタ」では、地域のリハビリ専門学校の先生や学生と連携し地域との交流を深めた。</p> |
| ③ 困っていること、改善したいことはありませんか。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・①の問いでまちづくり委員の方には「協働のまちづくり」という言葉がある程度浸透していると感じるが、事務局をまちづくりセンターが担っているので、事務局が主導するとの気持ちが抜け切れていないと感じる。改善したいこととして、センター職員、まちづくり委員、その他住民で「協働のまちづくり」の意味を正しく理解する必要があると思う。 ・まちづくり委員会のメンバーが総勢60名おり、課題ごとの部会性になっているが、夜の会議が中心となり女性役員の中には出席が難しい方がいる。逆に平日の日中は働く世代の方の出席が難しく困っている。 ・同じ方がいくつもの役を引き受けていて、委員数は多いが一部の方に役が集中している。 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|--|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | 定期的に連絡を取り、年間いくつかの事業にコーディネーターとしてかかわっている。昨年度は、防災ディキャンプ、健康フェアなどの事業に参画している。毎月センターだよりに住民の健康に関する記事を提供していただき掲載している。 |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | 事務局として関わっている。 センター事業の一部は共催事業となっている。 |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | まちづくり委員会の構成員として関わっている |
| ④ | その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。) 例えば 町内会、小学校 など | <ul style="list-style-type: none"> ・三保地区人権・同和教育推進委員会 ・三保地域福祉推進協議会 ・三隅小学校 ・三隅中学校 ・リハビリテーションカレッジ島根 ・浜田市社協三隅支所 ・食生活改善推進委員会 ・石州和紙技術者会 ・はりも山公園手づくり委員会 等 |

(4) 将来像

| | | |
|---|--|---|
| ① | 今後、どのようなセンターにしていきたいですか。 また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。 | 地域の皆さんが笑顔になれるようなセンターにしていきたい。 また、来館者が気軽に声掛けが出来るよう、センター職員も笑顔で迎えられるようにしたい。 上記のことを実現するためには、難しい顔でパソコンをにらみつけるような仕事の姿勢ではなく、地域の方とのふれあいから、地域課題を発見できるようなスキルを身に着ける必要がある。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域に協働のまちづくりの理念を浸透させる。 ・センター主導になりすぎると地域の力を削いでしまう懸念があるので、事務局としてのセンターの立場、役割分担を明確にする必要がある。 ・「協働」といえ主体は住民であるので、センターは、前に出すぎないように、地域の皆さんが力を発揮できるような環境を作る必要があると思う。 |

◆まちづくりセンターへのヒアリングシート

日 時 令和4年 5月 12日 時 分 ~ 時 分
 センター名 (㉓白砂まちづくりセンター)
 委員名 (上野委員 岡本委員)

| ヒアリング事項 | | 回 答 |
|---------------------------------------|--|---|
| (1) 変化(公民館からまちづくりセンターに変わって1年が経過しました。) | | |
| ① | 公民館からセンターになってどのような変化がありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館時代から社会教育・生涯学習・まちづくり委員会事務局をにっていたため特別の変化はない。 ・センター運営費が充実されたので中広い事業が展開できている。 |
| ② | 地域住民の理解に変化はありましたか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・呼び名が変わることは理解に時間がかかる。 白砂自治会から白砂まちづくり委員会に変更したときも慣れるまで数年かかっており仕方のないことである。 ・配布物には「白砂まちづくりセンター」と表示を取り入れ周知している。 |
| (2) 現在 | | |
| ① | <p>特別委員会を立ち上げた原点である「協働のまちづくり」の推進にかかわるご質問をします。</p> <p>地域の皆さんは、「協働のまちづくり」について、どの程度意識を持っていると思いますか。</p> <p>※貴センターとして、日ごろ感じておられる感覚的なところで結構です。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会の総会資料には会長挨拶文の中に表すとともに、資料は全戸配布しているが十分な理解がされているとは思われない。 ・「協働」という言葉は使い慣れた言葉でなく理解がむづかしいと思う。 |
| ② | <p>特に力を入れていることはなんですか。</p> <p>(どの分野ですか。)</p> <p>特色はなんですか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「人づくり」地域の子どもが地域を知る事業を計画している。 令和3年度は「白砂の海」を知る事業、 令和4年度は「吉浦の梅」「東平原の西条柿」を計画。 ・継続している事業として学校との連携で西条柿を通した総合学習を行っている。令和3年度からは白砂公民館最後の事業として「西条柿副読本」を作成し授業に生かしている。いずれも地域の魅力を知ってもらい将来でるだけ多くの子どもに地域に残ってほしい。 |
| ③ | 困っていること、改善したいことはありますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が固定されている ・高齢化による参加率低下 ・センターまでの移動手段確保 |

(3) 連携(具体的に記載してください。)

| | | |
|---|---|---|
| ① | 「まちづくりコーディネーター」とはどのように連携をとっていますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンターで開催する事業での応援 ・白砂独自で行っている「口腔ケア事業」では看護師の知識の下で助言等頂いている |
| ② | 「地区まちづくり推進委員会」とはどのようにかかわっていますか。 | まちづくり委員会を立ち上げた時から事務局として連携しており、委員会事業並びに傘下の団体の事業とも連携している |
| ③ | 「地域協議会」との関係性を教えてください。 | 地域協議会委員はまちづくり委員会の推薦により決定されるので、事務局としての行政手続きを行っているのみ。三隅地域の地域協議会とは特別な関係はない |
| ④ | <p>その他、定期的に連携を持っている組織・団体はありますか。(具体的に教えてください。)</p> <p>例えば 町内会、小学校 など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会事業で集落施設を使用する場合集落長との連携を重視している。 ・学校とは連携事業が多くその対応を行っている。特に三隅小並びに周布小とは西条柿を通した総合学習授業を実施している。 |

(4) 将来像

| | | |
|---|---|--|
| ① | <p>今後、どのようなセンターにしていきたいですか。</p> <p>また、それを実現するために必要な改善点があれば教えてください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・センターに集える事業を出来るだけ展開していく。これまで無かったサロンについても4年度4回を計画。特にサロンは送迎なども考慮する必要があり、まちづくり委員会活性化部会で、あい乗りタクシー事業を活用した送迎も検討している。 |
| ② | 協働のまちづくりを進めるために、センターはどのような役割を担っていくべきだと思いますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・白砂まちづくり委員会の事務局業務及び関係各団体との連携 ・学校との連携によるふるさと郷育及び共育等の社会教育 ・地域住民の要望に応える生涯学習を推進 |